

調 査 の 概 要

1. 調査の目的

この調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の項目

県政の主要課題

- ① 県政全般に関する意識調査
- ② 災害時における県民の備えや意識について
- ③ 災害ボランティア等について
- ④ ワーク・ライフ・バランスについて
- ⑤ 高齢期の住まいについて
- ⑥ 県民の治安に対する意識と警察に求めることについて
- ⑦ 犯罪被害者等支援について
- ⑧ サイバー空間の安全対策について
- ⑨ 都市農業について

3. 調査の設計

- (1) 調査地域 千葉県全域
- (2) 調査対象 満18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
 ※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。
- (5) 調査方法 郵送法・オンライン調査法の併用
 （郵送配付－郵送・オンライン回収）
- (6) 調査時期 令和2年11月27日～令和2年12月18日

4. 調査機関

株式会社 マーケティングリサーチサービス

5. 回収結果

標本数 (A)	3,000件
総回収数 (B)	1,532件
有効回収数 (C)	1,529件
うちネット回収数	364件
無効回収数	3件
うちネット回収数	0件
回収率 (B/A)	51.07%
有効回収率 (C/A)	50.97%

標本抽出方法

調査対象：千葉県内の市町村に居住する満18歳以上の男女個人

標本数：3,000人

地点数：市部 193地点

郡部 7地点

計 200地点

抽出法：層化二段無作為抽出法

[層化]

1. 県内を、次の11地域に分類した。

地域名	該当市郡名
①千葉地域	千葉市、市原市
②葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
③東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
④印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
⑤香取地域	香取市、香取郡
⑥海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
⑦山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
⑧長生地域	茂原市、長生郡
⑨夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
⑩安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
⑪君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

2. 各地域内においては、さらに市部、郡部に分け、層とした。

(注) ここでいう市とは、令和2年4月1日現在市制施行の地域をさす。



[標本数の配分]

各地域・市郡規模別の層における満18歳以上の人口（令和2年4月1日現在の推定数）に対して、3,000の標本数を比例配分した。

[抽出]

1. 平成27年国勢調査時に設定された調査区を、第1次抽出単位となる調査単位として使用した。
 2. 調査地点の抽出は、調査地点が2地点以上に割り当てられた層については、

$$\left(\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$
 を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。
 3. 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成27年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。
 4. 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。
- 以上の結果、各地域・市郡別（層別）の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地域 \ 市郡	市部	郡部	計
①千葉地域	1,066,091	0	1,066,091
	585	0	585
	39	0	39
②葛南地域	1,424,395	0	1,424,395
	795	0	795
	53	0	53
③東葛飾地域	1,288,978	0	1,288,978
	720	0	720
	48	0	48
④印旛地域	582,691	36,303	618,994
	330	15	345
	22	1	23
⑤香取地域	66,268	30,304	96,572
	30	15	45
	2	1	3
⑥海匝地域	140,981	0	140,981
	75	0	75
	5	0	5
⑦山武地域	137,952	40,882	178,834
	75	30	105
	5	2	7
⑧長生地域	77,355	52,172	129,527
	45	30	75
	3	2	5
⑨夷隅地域	48,879	14,719	63,598
	30	15	45
	2	1	3
⑩安房地域	102,252	6,905	109,157
	60	0	60
	4	0	4
⑪君津地域	279,667	0	279,667
	150	0	150
	10	0	10
計	5,215,509	181,285	5,396,794
	2,895	105	3,000
	193	7	200

（注）上段は満18歳以上の人口（令和2年4月1日現在）、中段は標本数、下段は調査地点数である。

調査地点一覧

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
① 千葉地域	千葉市中央区長洲2丁目	15	① 千葉地域	市原市ちはら台西6丁目	15
	千葉市中央区鶴沢町	15		市原市深城	15
	千葉市中央区中央港1丁目	15		市原市玉前	15
	千葉市中央区弁天1丁目	15	② 葛南地域	市川市鬼高4丁目	15
	千葉市中央区松ヶ丘町	15		市川市平田3丁目	15
	千葉市中央区仁戸名町	15		市川市本北方1丁目	15
	千葉市中央区生実町	15		市川市田尻4丁目	15
	千葉市花見川区花園4丁目	15		市川市市川1丁目	15
	千葉市花見川区幕張町5丁目	15		市川市本北方3丁目	15
	千葉市花見川区朝日ヶ丘3丁目	15		市川市市川南1丁目	15
	千葉市花見川区幕張本郷4丁目	15		市川市市川2丁目	15
	千葉市花見川区三角町	15		市川市南大野2丁目	15
	千葉市花見川区柏井4丁目	15		市川市妙典2丁目	15
	千葉市稲毛区黒砂1丁目	15		市川市曾谷4丁目	15
	千葉市稲毛区小仲台5丁目	15		市川市宝1丁目	15
	千葉市稲毛区千草台1丁目	15		市川市北国分2丁目	15
	千葉市稲毛区小仲台9丁目	15		市川市行徳駅前1丁目	15
	千葉市稲毛区山王町	15		市川市南行徳2丁目	15
	千葉市若葉区西都賀2丁目	15		市川市香取2丁目	15
	千葉市若葉区加曽利町	15		市川市相之川1丁目	15
	千葉市若葉区都賀の台2丁目	15		船橋市本町5丁目	15
	千葉市若葉区千城台東4丁目	15		船橋市宮本6丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野中央6丁目	15		船橋市栄町2丁目	15
	千葉市緑区鎌取町	15		船橋市二子町	15
	千葉市緑区下大和田町	15		船橋市西船3丁目	15
	千葉市緑区あすみが丘8丁目	15		船橋市山手3丁目	15
	千葉市美浜区磯辺7丁目	15		船橋市夏見7丁目	15
	千葉市美浜区浜田1丁目	15		船橋市行田町	15
	千葉市美浜区高浜5丁目	15		船橋市藤原4丁目	15
	千葉市美浜区新港	15		船橋市金杉台1丁目	15
	市原市南国分寺台1丁目	15	船橋市八木が谷2丁目	15	
	市原市野毛	15	船橋市大穴北1丁目	15	
	市原市辰巳台東2丁目	15	船橋市大穴南1丁目	15	
	市原市青葉台6丁目	15	船橋市芝山4丁目	15	
市原市五井中央西1丁目	15	船橋市習志野台6丁目	15		
市原市東五所	15	船橋市西習志野4丁目	15		

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
②葛南地域	船橋市二宮2丁目	15	③東葛飾地域	野田市中野台	15
	船橋市三山5丁目	15		野田市上花輪新町	15
	船橋市前原東4丁目	15		野田市春日町	15
	習志野市袖ヶ浦1丁目	15		野田市親野井	15
	習志野市香澄1丁目	15		柏市中央2丁目	15
	習志野市奏の杜1丁目	15		柏市明原2丁目	15
	習志野市大久保3丁目	15		柏市戸張	15
	習志野市本大久保1丁目	15		柏市新富町1丁目	15
	習志野市東習志野6丁目	15		柏市西町	15
	八千代市緑が丘1丁目	15		柏市松葉町4丁目	15
	八千代市米本	15		柏市増尾7丁目	15
	八千代市村上南2丁目	15		柏市南増尾8丁目	15
	八千代市萱田町	15		柏市東中新宿4丁目	15
	八千代市八千代台南1丁目	15		柏市西原7丁目	15
	浦安市猫実2丁目	15		柏市花野井	15
	浦安市北栄1丁目	15		柏市高柳	15
	浦安市東野3丁目	15		流山市古間木	15
	浦安市堀江1丁目	15		流山市向小金1丁目	15
	浦安市入船5丁目	15		流山市木（大字）	15
	浦安市明海4丁目	15		流山市西初石4丁目	15
③東葛飾地域	松戸市吉井町	15	流山市南（大字）	15	
	松戸市二十世紀が丘美野里町	15	流山市西深井（大字）	15	
	松戸市南花島2丁目	15	我孫子市我孫子1丁目	15	
	松戸市稔台8丁目	15	我孫子市つくし野1丁目	15	
	松戸市二十世紀が丘戸山町	15	我孫子市天王台2丁目	15	
	松戸市古ヶ崎4丁目	15	我孫子市中峠	15	
	松戸市上本郷	15	鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2丁目	15	
	松戸市金ヶ作	15	鎌ヶ谷市東中沢2丁目	15	
	松戸市日暮3丁目	15	鎌ヶ谷市丸山1丁目	15	
	松戸市主水新田	15	鎌ヶ谷市くぬぎ山5丁目	15	
	松戸市新松戸3丁目	15	④印旛地域	成田市花崎町	15
	松戸市新松戸1丁目	15		成田市加良部4丁目	15
	松戸市小金清志町1丁目	15		成田市中台1丁目	15
	松戸市八ヶ崎7丁目	15		成田市公津の杜1丁目	15
	松戸市五香西3丁目	15		成田市西三里塚	15
	松戸市横須賀1丁目	15		佐倉市山崎	15
	松戸市東平賀	15		佐倉市染井野6丁目	15
	野田市瀬戸	15		佐倉市王子台6丁目	15

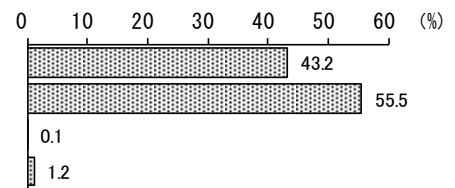
第61回県政に関する世論調査（R2年度）

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
④ 印旛地域	佐倉市上座	15	⑦ 山武地域	山武市蓮沼ホ	15
	佐倉市西ユーカリが丘3丁目	15		大網白里市みどりが丘4丁目	15
	四街道市栗山	15		山武郡九十九里町真亀	15
	四街道市四街道1丁目	15		山武郡横芝光町横芝	15
	四街道市千代田3丁目	15	⑧ 長生地域	茂原市町保	15
	八街市大関	15		茂原市大芝	15
	八街市八街へ	15		茂原市六ツ野	15
	八街市四木	15		長生郡睦沢町大上	15
	印西市原山1丁目	15	⑨ 夷隅地域	長生郡長柄町立鳥	15
	印西市西の原1丁目	15		勝浦市鶴原	15
	印西市松木	15		いすみ市東中滝	15
	白井市堀込2丁目	15	⑩ 安房地域	夷隅郡大多喜町久我原	15
	白井市富塚	15		館山市長須賀	15
	富里市根木名	15		館山市沼	15
	印旛郡酒々井町馬橋	15		鴨川市横渚	15
⑤ 香取地域	香取市大島	15		南房総市池之内	15
	香取市上小堀	15	⑪ 君津地域	木更津市清川2丁目	15
	香取郡東庄町笹川い	15		木更津市東太田2丁目	15
⑥ 海匝地域	銚子市東小川町	15		木更津市大久保4丁目	15
	銚子市芦崎町	15		木更津市江川	15
	旭市鎌数	15		君津市北子安2丁目	15
	匝瑳市八日市場ハ	15		君津市北子安5丁目	15
	匝瑳市栢田	15		君津市久留里	15
⑦ 山武地域	東金市南上宿	15		富津市青木三丁目	15
	東金市滝	15	袖ヶ浦市坂戸市場	15	
	山武市富口	15	袖ヶ浦市久保田	15	

回答者の属性

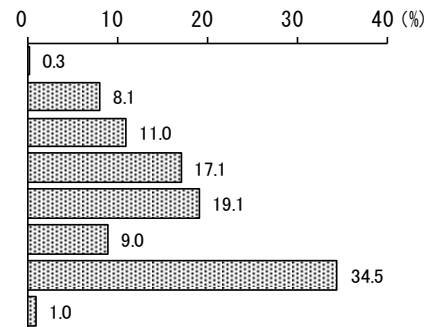
1. 性

	基数	構成比
1 男性	661	43.2
2 女性	849	55.5
3 その他 (無回答)	1 18	0.1 1.2
全 体	1,529	100.0



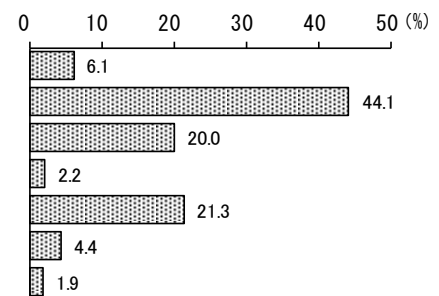
2. 年 代

	基数	構成比
1 18～19歳	4	0.3
2 20代	124	8.1
3 30代	168	11.0
4 40代	261	17.1
5 50代	292	19.1
6 60～64歳	137	9.0
7 65歳以上	527	34.5
(無回答)	16	1.0
全 体	1,529	100.0



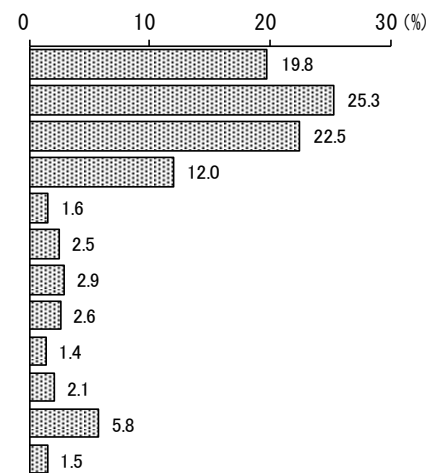
3. 職 業

	基数	構成比
1 自営業者	93	6.1
2 勤め人	674	44.1
3 主婦・主夫	306	20.0
4 学生	34	2.2
5 無職	326	21.3
6 その他	67	4.4
(無回答)	29	1.9
全 体	1,529	100.0



4. 地 域

	基数	構成比
1 千葉地域	303	19.8
2 葛南地域	387	25.3
3 東葛飾地域	344	22.5
4 印旛地域	184	12.0
5 香取地域	24	1.6
6 海匝地域	38	2.5
7 山武地域	45	2.9
8 長生地域	39	2.6
9 夷隅地域	22	1.4
10 安房地域	32	2.1
11 君津地域	88	5.8
(無回答)	23	1.5
全 体	1,529	100.0



（報告書の見方）

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- （1）比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- （2）基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。
- （3）1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- （4）選択肢を合わせた表記の回答割合は、選択肢の回答者人数を合わせた値を、全回答者で割った値を採用しているため、選択肢の回答割合を単純に足した値と異なることがある。
- （5）地域別、性・年齢別の分析において、サンプル数の少ない属性の分析については、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析で触れていない場合がある。
- （6）この調査の標本誤差は次の式によって得られる。但し、信頼度を95%とする。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数（サンプル数）
 P = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

回答比率（P） 基数（n）		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
		総数	1,529人	± 2.17	± 2.89	± 3.31
千葉地域	303	± 4.87	± 6.50	± 7.45	± 7.96	± 8.12
葛南地域	387	± 4.31	± 5.75	± 6.59	± 7.04	± 7.19
東葛飾地域	344	± 4.57	± 6.10	± 6.99	± 7.47	± 7.62
印旛地域	184	± 6.25	± 8.34	± 9.55	± 10.21	± 10.42
香取地域	24	± 17.32	± 23.09	± 26.45	± 28.28	± 28.86
海匝地域	38	± 13.76	± 18.35	± 21.02	± 22.48	± 22.94
山武地域	45	± 12.65	± 16.86	± 19.32	± 20.65	± 21.08
長生地域	39	± 13.59	± 18.11	± 20.75	± 22.19	± 22.64
夷隅地域	22	± 18.09	± 24.12	± 27.63	± 29.54	± 30.15
安房地域	32	± 15.00	± 20.00	± 22.91	± 24.49	± 25.00
君津地域	88	± 9.04	± 12.06	± 13.82	± 14.77	± 15.07
男性	661	± 3.30	± 4.40	± 5.04	± 5.39	± 5.50
女性	849	± 2.91	± 3.88	± 4.45	± 4.75	± 4.85